

2012年9月15日

日本キリスト教団京都教区

「東日本大震災被災者支援ボランティア」登録・派遣

第Ⅳ期 の お知らせ

日本キリスト教団京都教区総会議長

災害対策小委員会委員長 井上勇一

京都教区は2011年5月から「東日本大震災被災者支援ボランティア」の登録・派遣活動を行っています。

現在第3期（2012年9月末まで）の派遣期間中です。この間、ボランティア登録者116名、延べ178名の方たちが、ボランティアとして被災地に出かけて、支援活動を行って下さいました。主として、東北教区被災者支援センターエマオを拠点として仙台市、石巻でワークが行われています。

2011年3月11日の大震災発生からから1年半がたちますが、被災された方の多くは、仮設住宅や借り上げ住宅での生活が続いております。エマオでのワークでは海水に浸かった農地の掘り起こし作業と塩抜き作業など、農作物の新たな収穫を目指す支援活動も行われています。

京都教区は、被災地の方々が必要とされている支援を行わせていただくために、2012年10月から「第Ⅳ期ボランティア登録・派遣」を行います。派遣費用は教区が負担します。一回の派遣にあたり、一人5万円をお渡ししています。

また第Ⅳ期は、予め期間を定めてまとまった人数で派遣（経験者を加える）する「グループボランティア派遣」も行います。第1回は10月28日～11月2日の日程で実施します。

ボランティア登録と支援活動への参加をお待ちしています。

1. 第Ⅳ期ボランティア登録・派遣期間は、「2013年3月末」までです。

2. ボランティア登録

所定の用紙によってボランティア登録を行って下さい。

■ 登録申込先：日本キリスト教団京都教区事務所

〒602-0917 京都市上京区一条通室町西入東日野殿町 394-2

Fax. 075-451-0630 Email : [info@uccj-kyoto.com](mailto:info@uccj-kyoto.com)

災害対策委員会ボランティア派遣事務局責任者：望月修治（同志社教会）

■ ファックスかメールで登録して下さい。

■ 京都教区ホームページから登録用紙をダウンロードできます。

<http://www.uccj-kyoto.com/copeweqd.html>

3. ボランティア活動日程

ボランティア活動は原則、往復の移動日を加えて1回のボランティア期間は6日間（実働4日間）をご予定下さい。

4. ボランティア派遣費用

一人一回の派遣につき、5万円。 残金を返却していただく必要はありません。  
ただし、5万円を超えて費用がかかった場合には、超過分は各自で負担して下さい。

## 5. ボランティアの派遣について

京都教区のボランティア派遣は、原則、日本キリスト教団東北教区被災者支援センターエマオの受け入れに対応して行います。同支援センターに申し込み、受け入れの返事があって、派遣の日程が決定されます。ほぼ希望していただく日程でボランティアに参加していただけます。受入登録が完了しましたら、必要書類（「ボランティア活動同意書」「ボランティア活動確認書」「ボランティア保険資料」「東北教区被災者支援センターエマオ所在地図」など）を京都教区ボランティア派遣事務局からお送りします。持って行っていただくものなども記してありますので、準備を進めて出発日に備えて下さい。これまで70歳を超える方もボランティアに行っており下されています。そして被災者支援センターエマオでの食事作りなども担当していただいています。

### 1) 派遣にあたっては、事前に必ず以下の手続きをしておいて下さい。

- ①「ボランティア活動保険」<天災タイプA>あるいは<天災タイプB>に必ず、各自で加入して下さい。  
保険料と補償内容は各自治体によって異なります。  
保険料(例：京都府の場合) > 天災タイプA：6,000円、天災タイプB：1,100円  
詳細は地元自治体の社会福祉協議会のホームページを御覧下さい。  
あるいは直接、社会福祉協議会にお問い合わせ下さい。  
○ボランティア活動保険の有効期間は毎年4月1日～翌年3月31日です。  
年度が替われば新たな加入手続きが必要です。  
○各地方自治体の社会福祉協議会で加入手続きができます。
- ②「ボランティア活動合意書」をお送りしますので、必要事項をご記入の上、折り返し返送して下さい。
- ③未成年でボランティアに参加される場合には、「ボランティア活動合意書」に加えて「未成年ボランティア参加同意書」を提出して下さい。(用紙は事務局からお送りします。)
- ④健康保険証をご用意下さい。

### 2) 派遣費5万円は、京都教区事務所でお渡しいたします。

### 3) ボランティア終了後に報告書を作成して下さい。

ボランティア期間の日毎の活動報告と感想を、作成し教区事務所までお送り下さい。長さは自由です。  
(可能ならばメールで送信して下さい。)

### 4) 現地への往復の交通手段は、高速バス、新幹線、飛行機等、各自で選択しチケットも予約購入して下さい。

## 6. ボランティア活動の現在 (被災者支援センターエマオのブログより・・・)

○支援センター・エマオでは、被災地でワークをしてくださるボランティアを募集しています。当センターのワーク地は、主に宮城県の仙台市(若林区)と石巻市です。若林区のワークでは、センターから被災地まで(片道14キロ)を自転車、または自動車で行きます。石巻のワークでは、仙台のセンターまたは石巻市内の拠点から、自動車で行きます。

○当センターでは、効率性よりも、被災者の方々との信頼関係を大切にしています。多くのものを失った方々に心から寄り添い、またその喜びを共有できるような活動を目指しています。また、ボランティア・ワークの後には、通常の報告のほかに、経験したことを分かち合い、互いに学びあう「シェアリング」の時間を設けています。